

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 住金物産株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9938 URL <http://www.sumikinbussan.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 天谷雅俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長

(氏名) 前田茂

TEL 03-5412-5003

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	559,137	△45.6	6,184	△63.6	5,949	△61.1	3,070	△54.7
21年3月期第3四半期	1,027,842	—	16,976	—	15,304	—	6,781	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	18.72	—
21年3月期第3四半期	41.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	337,151	52,243	15.0	308.23
21年3月期	365,677	50,429	13.3	295.55

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 50,544百万円 21年3月期 48,467百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.50	—	2.50	8.00
22年3月期	—	2.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	△39.6	10,500	△40.0	9,000	△40.7	4,000	△36.2	24.39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	164,534,094株	21年3月期	164,534,094株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	551,610株	21年3月期	543,715株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	163,986,414株	21年3月期第3四半期	163,997,490株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

<業績の概況>

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出の増加や在庫調整の一巡などから景気回復の兆しが見られましたが、設備投資や雇用の低迷、円高による景気の押し下げなどから、厳しい経営環境が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの売上高は5,591億円となり、前年同期に比べ4,687億円、45.6%減少しました。損益につきましては、経常利益が59億49百万円となり、前年同期に比べ93億55百万円、61.1%減少しました。四半期純利益は30億70百万円となり、前年同期に比べ37億11百万円、54.7%減少しました。

<事業の種類別セグメントの概況>

(鉄鋼)

鉄鋼業界におきましては、自動車関連の回復が顕著になりましたが、住宅着工の冷え込みなど建設関連は低迷が続いており、厳しい状況で推移しました。売上高は取扱い数量の減少に加え、取引の見直しにより鉄鋼半製品の取扱いが大きく減少したこともあり、2,847億円となり、前年同期に比べ3,644億円、56.1%減少しました。営業利益は24億16百万円となり、前年同期に比べ63億53百万円、72.4%減少しました。

(機械・金属)

産業機械業界におきましては、外需に回復の兆しが見え始めておりますが、国内の民間企業の設備投資は依然として停滞しており、産業機械等の需要は低水準で推移しました。また、特殊鋼・非鉄金属等についても厳しい状況が続きました。売上高は821億円となり、前年同期に比べ526億円、39.0%減少しました。営業利益は1億74百万円となり、前年同期に比べ23億25百万円、93.0%減少しました。

(繊維)

繊維業界におきましては、個人消費の低迷、消費者の低価格志向の強まりなどから、百貨店等の大型小売店の衣料品販売は低迷が続き、依然として厳しい状況で推移しました。売上高は1,078億円となり、前年同期に比べ191億円、15.1%減少しました。営業利益は14億95百万円となり、前年同期に比べ27億7百万円、64.4%減少しました。

(食糧)

当社グループの食糧事業の中心であります輸入食肉業界におきましては、雇用・所得環境の悪化による消費の停滞、食肉相場の低迷など、厳しい状況が続きました。売上高は834億円となり、前年同期に比べ321億円、27.8%減少しました。営業利益は17億76百万円となり、輸入ブローラーのたな卸資産評価損の計上があった前年同期に比べ6億82百万円、62.3%増加しました。

(その他の事業)

その他の事業には倉庫、テナントビルの不動産賃貸等の事業が含まれております。その他の事業の売上高は9億円となり、前年同期に比べ2億円、20.9%減少しました。営業利益は3億14百万円となり、前年同期に比べ92百万円、22.7%減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末の資産は3,371億円となり、たな卸資産の減少などにより前期末に比べ285億円減少しました。負債は2,849億円となり、支払手形及び買掛金の減少などにより前期末に比べ303億円減少しました。純資産は522億円となり、四半期純利益の計上などにより前期末に比べ18億円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は98億円となり、前期末に比べ10億円減少しました。

営業活動による資金の増加は、たな卸資産の減少などにより15億円となりました。投資活動による資金の減少は、有形固定資産の取得による支出などにより3億円となりました。

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出などにより24億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、各国で実施された景気対策効果により、新興国を中心に景気回復が鮮明になりつつありますが、世界経済の動向は依然として不透明な状況が続いております。わが国経済においても公共事業の圧縮、雇用・所得環境の低迷などにより、先行きは厳しい状況が続くものと思われま

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更
セグメント情報の事業区分の変更

第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の事業区分を変更しております。詳細については12ページ「(4) セグメント情報」に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,891	10,985
受取手形及び売掛金	219,238	218,890
たな卸資産	42,722	60,550
その他	13,409	22,791
貸倒引当金	△2,089	△2,581
流動資産合計	283,172	310,637
固定資産		
有形固定資産	27,080	27,416
無形固定資産		
のれん	235	352
その他	566	630
無形固定資産合計	801	983
投資その他の資産		
その他	29,493	30,274
貸倒引当金	△3,393	△3,631
投資損失引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	26,097	26,640
固定資産合計	53,978	55,040
資産合計	337,151	365,677
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,588	201,929
短期借入金	73,568	73,546
未払法人税等	869	2,729
賞与引当金	343	1,483
その他	15,025	15,341
流動負債合計	266,395	295,029
固定負債		
長期借入金	13,556	15,138
退職給付引当金	2,472	2,377
役員退職慰労引当金	303	367
負ののれん	238	315
その他	1,942	2,018
固定負債合計	18,512	20,218
負債合計	284,908	315,248

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	7,085	7,086
利益剰余金	32,919	30,604
自己株式	△184	△184
株主資本合計	52,156	49,842
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	383	592
繰延ヘッジ損益	△180	△52
土地再評価差額金	76	75
為替換算調整勘定	△1,891	△1,990
評価・換算差額等合計	△1,611	△1,375
少数株主持分	1,698	1,962
純資産合計	52,243	50,429
負債純資産合計	337,151	365,677

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,027,842	559,137
売上原価	973,073	518,036
売上総利益	54,768	41,101
販売費及び一般管理費	37,792	34,916
営業利益	16,976	6,184
営業外収益		
受取利息	470	195
受取配当金	353	244
負ののれん償却額	88	80
持分法による投資利益	388	438
その他	624	641
営業外収益合計	1,924	1,600
営業外費用		
支払利息	2,360	1,324
その他	1,236	510
営業外費用合計	3,596	1,835
経常利益	15,304	5,949
特別利益		
固定資産売却益	—	99
投資有価証券売却益	246	718
出資金売却益	43	8
持分変動利益	—	3
貸倒引当金戻入額	—	406
関係会社貸倒引当金戻入額	113	—
特別利益合計	402	1,238
特別損失		
減損損失	156	211
投資有価証券売却損	29	12
投資有価証券評価損	2,577	125
出資金評価損	—	219
関係会社貸倒引当金繰入額	—	24
特別損失合計	2,763	592
税金等調整前四半期純利益	12,944	6,595
法人税、住民税及び事業税	6,185	3,395
法人税等調整額	△176	295
法人税等合計	6,009	3,691
少数株主利益又は少数株主損失(△)	153	△166
四半期純利益	6,781	3,070

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	319,737	197,597
売上原価	303,398	183,502
売上総利益	16,338	14,094
販売費及び一般管理費	12,539	11,525
営業利益	3,799	2,568
営業外収益		
受取利息	131	60
受取配当金	107	64
負ののれん償却額	29	25
持分法による投資利益	—	148
その他	115	202
営業外収益合計	384	501
営業外費用		
支払利息	811	376
持分法による投資損失	265	—
その他	586	85
営業外費用合計	1,664	461
経常利益	2,519	2,608
特別利益		
固定資産売却益	—	94
投資有価証券売却益	63	6
出資金売却益	1	8
貸倒引当金戻入額	104	—
関係会社貸倒引当金戻入額	113	—
特別利益合計	282	109
特別損失		
減損損失	—	34
投資有価証券売却損	27	0
投資有価証券評価損	2,575	3
出資金評価損	—	38
特別損失合計	2,602	76
税金等調整前四半期純利益	200	2,641
法人税、住民税及び事業税	1,307	321
法人税等調整額	△388	1,068
法人税等合計	919	1,390
少数株主利益又は少数株主損失(△)	43	△38
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△763	1,289

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,944	6,595
減価償却費	1,296	1,385
減損損失	156	211
のれん償却額	157	117
負ののれん償却額	△88	△80
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△175	△736
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,094	△1,154
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△113	27
受取利息及び受取配当金	△823	△439
支払利息	2,360	1,324
持分法による投資損益 (△は益)	△388	△438
固定資産売却損益 (△は益)	—	△99
投資有価証券評価損	2,577	125
出資金評価損	—	219
投資有価証券売却損益 (△は益)	△216	△706
出資金売却損益 (△は益)	△43	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,256	185
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△15,435	18,204
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,514	△26,122
その他	△874	8,669
小計	9,497	7,279
利息及び配当金の受取額	1,348	818
利息の支払額	△2,314	△1,253
法人税等の支払額	△9,399	△5,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△867	1,582

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,400	△1,358
有形固定資産の売却による収入	147	193
投資有価証券の取得による支出	△724	△949
投資有価証券の売却による収入	417	1,675
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	160	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	59	△85
長期貸付けによる支出	△70	△77
長期貸付金の回収による収入	180	13
その他	145	258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,083	△329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,427	△199
長期借入れによる収入	2,360	1,927
長期借入金の返済による支出	△3,011	△3,249
配当金の支払額	△1,877	△818
少数株主からの払込みによる収入	—	5
少数株主への配当金の支払額	△71	△98
その他	△10	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,816	△2,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	△190	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	674	△1,202
現金及び現金同等物の期首残高	8,429	10,915
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	155
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,104	9,868

(4)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	199,951	38,546	41,969	38,894	375	319,737	-	319,737
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	337	466	-	-	788	1,591	(1,591)	-
計	200,288	39,012	41,969	38,894	1,163	321,328	(1,591)	319,737
営業利益又は営業損失(△)	2,611	550	1,126	△ 665	167	3,790	8	3,799

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	101,918	30,604	37,526	27,204	342	197,597	-	197,597
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	223	454	-	-	741	1,420	(1,420)	-
計	102,142	31,059	37,526	27,204	1,083	199,017	(1,420)	197,597
営業利益	1,081	88	565	678	141	2,556	12	2,568

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	649,258	134,813	126,987	115,618	1,165	1,027,842	-	1,027,842
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	960	1,484	0	-	2,207	4,652	(4,652)	-
計	650,219	136,297	126,987	115,618	3,373	1,032,495	(4,652)	1,027,842
営業利益	8,769	2,499	4,202	1,094	406	16,971	4	16,976

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	284,759	82,172	107,808	83,475	922	559,137	-	559,137
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	719	1,300	-	-	2,208	4,228	(4,228)	-
計	285,479	83,472	107,808	83,475	3,131	563,366	(4,228)	559,137
営業利益	2,416	174	1,495	1,776	314	6,178	6	6,184

(注) 1. 事業区分は、経営管理上採用している区分ならびに販売市場等の類似性を勘案しております。

2. 各事業の主な商品

- (1) 鉄鋼 …………… 鋼管、鋼板、建材、鉄鋼原料等
- (2) 機械・金属 …………… 非鉄金属、機械、条鋼線材、鋳鍛品
- (3) 繊維 …………… 繊維製品、繊維原料
- (4) 食糧 …………… 食肉、水産物他
- (5) その他の事業 …………… 不動産賃貸他

3. 事業区分の変更

鉄鋼原料・半製品事業は、第1四半期連結会計期間より取引の見直しに伴い鉄鋼半製品の取扱いが大きく減少し、当該事業の売上高の重要性が低下しましたので「鉄鋼」に含めて区分表示しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間と同様の区分によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の「鉄鋼」の売上高は27,158百万円増加し、営業利益は233百万円増加しております。

なお、前第3四半期連結会計期間および前第3四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報については、区分変更後に遡及修正しております。

前第3四半期連結累計期間の「鉄鋼」に含まれる鉄鋼原料・半製品の売上高は258,618百万円、営業利益は587百万円であります。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。